



井上 健一さん
(農業)



作る喜びは何にも変えれん

軽トラ1台がちょうど通れる山道に行く。ガタガタと揺られながら数分走ると、青々とした生姜畑が広がっていた。山の傾斜に合わせて5枚ほどの畑が連なり、鮮やかな緑の葉が揺れている。「ええろう、ここは。お気に入りの場所よ」と井上健一さんが笑う。

10月下旬から始まる収穫を控え、台風対策のネットを外す作業などに追われていた。生姜は病気に弱いデリケートな作物で、今年は例年より病気が多かったという。「夏に水をやり過ぎたせいかもしれない。何が原因かはっきりとは分からん。そらあ難しいで」。

井上さんは若井川地区で生姜とニラ、米を栽培している。もともとはJR四国を経て土佐くろしお鉄道で働いていたが、45歳の時に子ども3人を養うために専業農家に。若い頃から兼業で耕作していた実家の田畑に加え、冬場の収入源としてニラのハウスを増やした。生姜の段々畑につながる山道は自力で舗装し、周囲にはイノシシ対策の柵を設

置した。夜明けから日が暮れて周りが見えなくなるまで、懸命に働いてきた。

生姜栽培では、土壌の「菌のバランス」に特に気を付けているという。土の中の悪玉菌が増え過ぎると病気になるため、「善玉菌(の改良剤)を補給してバランスを崩さんようにせないかん。目には見えんき、感覚よ。思うようにはいかん」と話す。

8年間にわたって、JA高知県四万十生姜部会の部長を務めた井上さん。今でも県外への視察などを続けている。資材や燃料の値上がり、夏場の気温上昇など、農業を取り巻く環境は厳しくなる一方だという。農業を続ける理由を聞くと、飾らない言葉で答えてくれた。

「やっぱり好きやないとうせん。そら、自分が納得するもんが作れた時の喜びよ。『見てんやこれ、ようできちゅうろうが』言うてにやあ。そこは何にも変えれんやろうね」。

ちよい waza!! 町にはこんは waza も 兄弟4人で農作業の手伝い! 甲把 朔さん(窪川中2年) 日さん(七里小6年) 碧さん(小4) 椎さん(小2)

休日には父・雄さんの生姜畑を手伝う。収穫の時は朝からコンテナで生姜を運んだり、茎を切ったり。つい気が散ってしまうこともあるが、休憩時間のおやつを楽しみに「やるときはちゃんとやる!」と頼もしい。



こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。ちよいwaza!!は随時募集中!



四万十高校の魅力



四万十高校公式Instagram @shimantokoukou ぜひフォローしてください!!

地域とつながる教育活動① 廃油石鹸づくり

【協力者：四万十町商工会大正支所女性部】

地域の方に協力していただいている教育活動をご紹介します。今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

環境学習の一環として、1年生自然環境コースの授業で行っています。丁寧に教えていただいたおかげで、初めての作業にとまどいながらも、石鹸を作ることができました。作った石鹸は、創立70周年の記念品として配布する予定です。

生徒の感想(一部抜粋)

・地域の方やみんなと協力して作ることができてとても楽しかった。自然や環境のためになる活動が増えたり広まったりしたらいいのと思った。

・この活動は30年以上前から行われていて、今はいらぬものからリサイクルすることが当たり前になっているけど、当時は画期的だった。その後の下水道処理場の見学と合わせて話を聞いたが、四万十川をきれいに保ちたいという思いを聞いて、自分も四万十川を汚さないようにしたいと思った。



地域で挑戦する、高校生たち



「じゅうく。」では、町内の中学校に通う2、3年生を対象とした「中学部」が始動しました。生徒が「なるほど!」と思えるように、数学・英語それぞれの科目の特徴や面白さに焦点を当てながら授業を実施しています。授業の体験も可能ですので、お気軽にお問い合わせください!

【お問い合わせ先】 町営塾「じゅうく。」 ☎050-5482-3339 人材育成推進センター ☎22-3163